

『よしボラ隊』について

仙台市立吉成中学校

(1) 『よしボラ隊』の発足

平成25年度より、吉成中学校区学びの連携の中心として、『よしボラ隊』を以下の目的（ねらい）のもとに発足させた。

『よしボラ隊』の目的

- ・中学生が地域の一員として役立とうとする、たくましい自己を育む。
- ・主体的に地域に関わることで中学生が自ら、助け合いながらよりよい地域を作ろうとする心を育てる。
- ・地域の方々に中学校を知っていただき、中学校を地域の人々との交流の場としても生かしていく機会を作りつつ、地域の防災にも貢献していく。



『よしボラ隊』では、吉成中学校生徒会長が隊長となり、生徒会役員と中学3年生がリーダーシップを発揮しながら活動を行っていくことで、地域との関わりを深め後輩や小学生の見本となりながら、自ら考え主体的に行動する力を育てていく。地域に中学生の若い力

を役立ててもらい、お互いの顔が見える状況を作ること

で、共助意識も育てていく。
年1回の全校よしボラでは、地域の清掃活動と危険箇所の調査を行い、『よしボラ隊チェックマップ』を作成している。また、「地域連絡会」で『よしボラ隊』への要望などを集約している。地域連携担当教諭などが地域からボランティアの要請をうけると、生徒会役員が生徒へ呼びかけ、生徒が自らボランティアを希望して参加する。

『雪ボラ』や『落ち葉ボラ』は、舗道などの落ち葉がたくさんある場合や雪が降った朝などに、生徒が自ら早めに（目安は朝7時30分）に登校して、教師と共に舗道やバス停付近、学校周辺の通学路

の階段などの落ち葉掃きや雪かきを、自主的に行っている。

また、地域の方々へ『よしボラ隊』の周知、浸透を図るために、「シンボルマーク」と「のぼり」、生徒が着用する共通の

「ビブス」を作成した。活動を行っているときにはビブスを着用し、のぼりを立てることで、活動していることをアピールできるように考えた。これらにかかった費用は、学校支援地域



『よしボラ隊』発足式



夏祭りみこし担ぎ



全校よしボラ



地域連絡会



落ち葉掃きボラ



雪ボラ



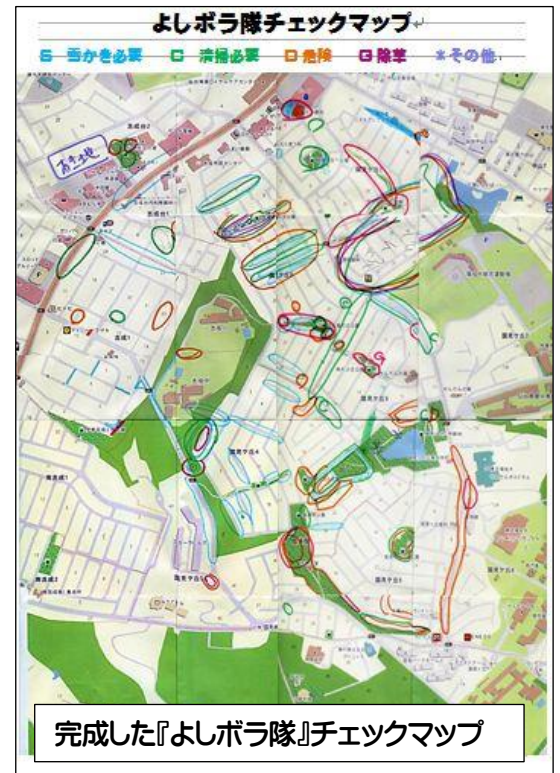
自分たちの地域の危険箇所をそれぞれチェック

本部の協力も得ながら、様々な補助金を申請し（「せんだい元気アップファンド」「赤い羽根チャイルド大使育成事業」など）、活動の趣旨に賛同していただくことで補助金が認められ、予算を確保することができた。

『よしボラ隊』は中学3年生を中心に希望者が多く、年度後半から中学2年生、中学1年生が引き継ぐ形の活動として定着しつつある。今後とも吉成中学校区・学びの連携の中心的な活動として、これからは小学生を含めた『よしボラ隊』としての活動を増やし、小中の連携をさらに進めながら活動していきたい。



『よしボラ』コーナーの設置。(1階北昇降口前マルチスペース)



完成した『よしボラ隊』チェックマップ